

平成 年 月 日

〇〇〇〇 様

## 〇〇 様宅 コウモリ防除に関する調査報告書

害虫・害獣  
予防駆除  
有限会社  
**サンアイ**

本 社 〒509-0401 岐阜県加茂郡七宗町上麻生1588-2 有限会社 サンアイ

TEL 0574-48-1219 FAX 0574-48-2072

美濃加茂事務所 〒505-0046 美濃加茂市西町8-61

TEL 0120-029164 FAX 0574-27-6252

調査日時：平成 年 月 日 PM2：10～PM3：00

調査場所：羽島市正木町 TEL：058-

依頼者：〇〇建築株式会社 △△様

調査人名：(有)サンアイ 今瀬芳尚 (防除作業監督者 防第 9137 号)

## 調査項目

1、侵入コウモリの種類の同定調査

2、生息状況と個体数の調査

3、被害状況の調査

4、侵入箇所

5、防除工事方法の選定と期間

6、施工事例

## 報告

### 1、侵入コウモリ種類の同定調査

**\*種類：** 現在、日本に生息するコウモリは約36種類そのうち都市部でも14種類ほどが確認されていて、住宅の屋根裏や壁の中に棲み付いたのが確認されている種類にクビワコウモリ、キクガシラコウモリ、ヒメホオヒゲコウモリ、ウサギコウモリ が挙げられますが、最も多いのはアブラコウモリです。また ○○ 邸にて確認したコウモリの死骸や糞はアブラコウモリのものです。



親離れ時に迷い込み干乾びた死骸



ユニットバス枠に堆積したアブラコウモリの糞

### 2、生息状況と個体数の調査

**生息状況：** コウモリは3月中旬から4月頃にかけて外気温の上昇と共に活動し始めます。唯一、空飛ぶ哺乳動物として冬場は暖かい場所で、冬眠をもしくは越冬をしています。アブラコウモリの出産期は7月初旬、一度に1から3仔を出産し、8月後半には巣立ち期となり、10月に入ると交尾を行ないます。しかし、精子はメスの生殖器官に貯えられたまま冬を越し、冬眠あけの4月下旬になってから排卵が起こり受精・妊娠します。立木 邸におきましても、**外壁サイディング**と**断熱材隙間**を利用してこのサイクルを繰り返して居るものと思われます。

**個体数：** コウモリは哺乳動物で有りながら、縄張り争いがなく集団で同一場所に棲息し易く、棲家と成る場所では4羽～8羽が同時に生活します。従って一階東・2階東・北面数ヶ所での侵入の形跡が確認されます。全ての場所で棲息しているものとすれば、20～30羽程に成るでしょう。また、全て(壁面内部・軒天井・天井裏断熱材下)を点検出来ている状態ではございませんので、夏場の飛来休憩かもしれません。

### 3、被害状況の調査

被害状況：コウモリの被害として掲げられる事は、糞と尿によるシミ（天井板・外壁）、侵入ヶ所の出入り口が黒ずむ変色、糞と尿による異臭（梅雨時多く成る）、寄生ダニ（カズキダニ）による吸血がありますが、〇〇 邸では天井裏での糞の堆積、外壁の汚れ・侵入箇所木部の変色、糞を餌とする害虫の発生が被害と言えるでしょう。



ユニットバスのダクト部分



外壁近くのにユニット枠に糞が堆積



2階ユニットバスから西へ2m程の位置 断熱材をめくると天井材に糞の堆積が見られる



2階東面の南側 軒天井付近



1階東面の北側 軒天井付近

ユニットバス排気ダクト付近

#### 4、侵入箇所

**侵入箇所：**外壁サイディングと軒天井の隙間から侵入したアブラコウモリは、軒天井内の外壁部分を登り天井裏の断熱材の中へと侵入する場合と、外壁ジョイント部分の隙間(シーリングが無い部分)から侵入する場合があります。ユニットバスの排気ダクト部分は、軒天井内の壁面を貫通した状態を通してある為に、この部分の隙間よりユニット天井裏及び枠の部分まで侵入したと考えられます。



\*アブラコウモリが夜空を飛び回る時は大きく見えますが、羽を折りたたんで休憩や建物内部に侵入するときは小さな穴でも十分に侵入可能です(10mm×15mm以上ならば侵入)。従って、外壁と軒天井の接地部分はどこからでも侵入可能な状態にあります。

## 5、防除工事方法の選定と期間

**防除工事：** コウモリは鳥獣保護法の対象で、許可無く捕まえたり殺したり飼ったりする事が出来ません。従って防除工事に付いても基本的には、コウモリの性質を利用して、飛び出した後、再侵入出来なくする方法が一番良い方法で有ると言えましょう。

**方 法：** 出入りが確認されている場所には、専用の仕掛けを致します。アブラコウモリは夕方餌を求めて飛立ちます。2 時間ほど飛び回った後、元の棲家に戻りますが、内部に侵入するよりは、外壁の安全な場所に止まって休憩を繰り返し、明け方に本来の棲家に再侵入します。

上記の性質を利用して、日中補修と仕掛けを作成し一週間～10 日間調整を繰り返して、屋外に飛立たせた後、完全補修を致します。

補修方法は、1 階 2 階の軒天井部分と外壁の接地部分全てを補修する様にして下さい。

\* 1 cm以上の隙間の有る部分はすべて補修お願い致します。

**工 程：** コウモリの飛び始める頃の 3 月後半～11 月中旬までの期間（6 月中旬以降 8 月までは子育て期間、この時期は出来れば外したい）で、仮設足場を掛けて頂き、**侵入箇所以外**を予め補修を行って頂きます。その後、当社にて仕掛けを作成し、1 週間～10 日間は現状のままにします。（その間、当社にて点検・調整・捕獲・保護）

初回施工 4～5 日目に、天井裏等の生息調査及び清掃・消毒を行います。

軒天井の清掃をする場合、1 階の東面の南北 2 ヶ所、2 階東西面の南北で 4 ヶ所、2 階北側の浴室付近 2 ヶ所の計 8 ヶ所の開口部分が必要と成ります。

天井裏や壁面内部での生息が無い事を確認し、出入口の仕掛けを撤去し補修を来ない完了と成ります。

従って、コウモリ防除に要する期間は、10 日位と成りますが、連続しての工事では無く、初日と清掃・室内調査以外は、30 分程度の点検・調整と成ります。

**防除期間：** アブラコウモリは、この 12 月中旬～3 月初旬頃まで建物内部の壁面等で越冬をしています。冬場でも外気温が暖かい日などは、屋外へ飛びだし水分補給をする事が有りますが、概ね 3 月頃から徐々に活動を始めます。

従って、防除工事は活動が始まる頃から仕掛けを作成し、上記内容にて施工されるのが望ましいでしょう。また、防除工事に関しましては、現在の侵入箇所の補修のみならず、今後侵入の危険がある場所への補修工事を同時に施工願います。

軽量鉄骨系の侵入例



補修事例 ステンレスメッシュネット使用



施工事例



トタンと垂木の隙間補修



出入り口仕掛け



アクリル板での補修



もや部分の補修



トタン壁面の清掃



ボルトの穴の横を出入りするコウモリ



高所作業車を利用して



破風板と瓦の隙間ケラバ部分への板金取り付け      瓦の雨樋部分スズメ込板金の取り付け  
軒桁にこぼれ落ちる程のコウモリの糞、開口すると軒天井の中は糞が溢れんばかりでした。

